

神奈川県作業療法士会ニュース163号 目次

- 1 巻頭言
- 2 WFOT 2014 横浜大会のプログラム案
- 4 What's New 16th WFOT 2014 ~ from Local Operation committee
- 5 理事会抄録
- 6 生活行為向上マネジメントの概要 part1
- 7 認知症初期集中支援チームのモデル事業が開始されます
- 8 認知症の作業療法 前編

- 10 各部からの報告
- 14 より良い卒後教育環境を目指して
- 16 SIG紹介
- 17 求人広告／メディア掲載案内
- 19 研修会案内
- 20 会費納入方法変更について／編集後記

巻頭言

POST WFOTCongress 2014横浜 ～横浜大会後を今から見据えるべきでは？～

(一社) 神奈川県作業療法士会 事務局長 澤口 勇



早いもので、開催まであと1年を切りました。来年の6月18日(水)～21日(土)の4日間、いよいよ私達の地元パシフィコ横浜を会場に作業療法に関する国際学会が開かれます。神奈川県士会会員の皆さん！日英同時通訳付きです！遠慮なく参加の用意をして下さい！

世界作業療法士連盟(World Federation of Occupational Therapists)が主催する4年に1回の作業療法に関する国際学会ですが、アジアでは連盟設立から50年以上もの間、一度も開催がありませんでした。今回の日本開催は、今日までの諸先輩方の作業療法啓蒙啓発の努力と臨床の積み重ねがあったからと私は思います。敬意を称し、ここに深く、感謝申し上げます。

今回の開会式には日本の来賓として天皇陛下もご臨席されることが決まったと先日、大会組織委員会より情報が入りました。WFOT加盟の73カ国から参加する諸外国の作業療法士及び日本の作業療法士に対しお言葉を頂くことになるのでしょうか。ぜひ皆さんで直接、天皇陛下のお言葉も聞きませんか。そして日本の作業療法士たちはそのお言葉を希望にしましょう。開会式は大会前日の17日(火)夕方になるそうです。OT協会ニュースにもWFOT情報は反映されるはずですが、神奈川県士会としても随時会員の皆様に直接情報提供して参ります。

ところで皆さんは、日々臨床に携わりながら……「作業って何だろう？」と例えば考えることはございませんか？ちょうど、先日のお阪学会(国内OT学会)で国際シンポジウムが行われた際、中国やタ

イから日本に留学されている作業療法士が質疑でこう述べていました。「(母国で)作業療法というものを国民に説明するときに、中々上手く説明ができません……」この悩みは私と同じで正直驚きました！私は質疑を聞いていて「作業療法に国境はない」と思いました。国際大会という敷居が高いと感じる方は大勢いらっしゃると思いますが私は大丈夫と思いました。何故かって……それは同じ「作業療法士同志」だからですよ！大丈夫です、必ずコミュニケーションがとれます。このように、日々の悩みを海外の作業療法士達に聞いてもらおうと案外、自分たちと同じ悩みを持っていたり、意外と親和性が高いかもしれません……。

横浜大会はぜひ自分から参加し、諸外国の作業療法士と通訳を交えて議論し、自身のキャリアを有意義なものにして下さい。海外への旅費や滞在費もかからず、多くの海外の作業療法士と接する機会はたぶん……この先、一生ないかもしれませんので。

そして私は今、来年の6月以降がたいへん気になっております。世界や国内から5000名が参加する大会をしかも横浜で開催した……そのあと……これで終わりにしてはいけないのではないかという危機感があります。これを機会に、神奈川で得るものがないればせっかくの地元開催がもったいない、という強い思いです。

アイデアは皆さんに委ねたいと思います。各位が様々な方とつながりを持てば必ずや患者の利益ともなります。皆さんの力で、横浜大会後も実りある本大会にしましょう！

WFOT 2014 横浜大会のプログラム案

JAOT学術部長／第16回WFOT大会2014 学術委員長

小林正義



WFOT 2014横浜大会の開催準備にあたり、神奈川県作業療法士会の皆さまには大変お世話になってます。この場をお借りして感謝申し上げます。

私はWFOT 2014大会の学術委員長の立場で、演題登録と演題審査、大会プログラムの作成に携わっています。今回の演題登録では、一般演題（口述、ポスター）、ワークショップをあわせて3,000演題を超える登録がありました。このため、海外審査員の依頼と審査結果の確認に少々手間取ってしまいました（予定では2500演題を見積もっていました）。このため7月末に採択結果の報告とプログラム作成を予定していましたが、この度、ほぼ1ヵ月遅れてようやくプログラム案（ドラフト）を作成することができました。

本稿ではプログラムの概要、演題審査の経過と採択結果を中心に報告いたします。あくまでも「案」の段階ですので、今後、変更される場合もあります。あらかじめご了解ください。

1. 学会プログラム

学会プログラムには、Keynote Lecture（基調講

演）、Symposium（シンポジウム）、Workshop（ワークショップ）と一般演題（Oral、Poster）があります。WFOTが企画するLectureshipとPlenary Sessionも学会のプログラムに含まれます。また、学会プログラムには含まれませんが、希望者が会費を支払って参加する独立採算プログラムとしてEducation DayとPre-Congress Workshopが開催されます。

一般演題を除く学会プログラムの概要を表1に示しました。Keynote Lectureの講師は国内と海外の作業療法士からそれぞれ1名、国内の文化人から1名選ぶことが推奨されており、今回、寺山久美子先生（大阪川崎リハビリテーション大学）、Sussane Iwarsson先生（Lund University）と、大江健三郎先生にご講演をお願いしました。シンポジウムは4つを企画しました。シンポジウム2と3はJAOT（協会）の企画です。また、シンポジウム4は市民公開講座を兼ねています。ワークショップは計55セッションを予定しています。ここでは詳細はお知らせできませんが、日本の作業療法士による企画も10セッション含まれています。

表1 学会プログラム

6/16 Mon.	Education Day		
6/17 Tue.	Pre-congress WS	Half day (14)	Full day (9)
	Keynote Lecture	Symposium	WS
6/18 Wed.	WFOT Lectureship	Symposium 1 *Anders Kottorp (Sweden) Theme: Evidence-based Practice and Quality of Occupational Therapy	19Session
6/19 Thu.	Keynote Lecture 1 *寺山久美子 日本における作業療法の進展と挑戦 ～日本作業療法士協会の視点から WFOT Plenary Session	Symposium 2 (JAOT Project) 東日本大震災からの復興支援と作業療法 *香山明美（日本作業療法士協会） *大久保訓（岩手県作業療法士会） *佐藤善久（宮城県作業療法士会） *椎野良隆（福島県作業療法士会）	8Session
6/20 Fri.	Keynote Lecture 2 *Sussane Iwarsson (Sweden) Occupational Therapy Serving the Community in an Era of Rapid Change	Symposium 3 (JAOT Project) 認知症高齢者に対する作業療法の貢献 *Jennifer Wenborn (UK) *Maud Graff (Netherlands) *小川 敬之（日本）	20Session
6/21 Sat.	Keynote Lecture 3 *大江健三郎 Theme: Sharing Tradition, Creating Futures	Symposium 4（市民公開講座） 感動があるからこそ、作業療法である！ ～「当事者3人」と「作業療法士」とで作業療法の本質を考える～ *葉山 康明 *櫛田美知子 *小宮 山優	8Session

2. 演題の採択

演題の審査は一般演題・ワークショップともに1演題につき3名の審査員が共通のスコアリングシートを用いて行いました。スコアリングは50点満点で、審査員3名の平均スコアが25に達しなかった場合に不採択としました。ただし、3名の採点にばらつきが大きい場合は、学術委員会が改めて審査し合否を判定しました。海外登録者はワークショップを希望する人が多く、国内からの登録が26であったのに対し、海外からの登録は121ありました。より多くのワークショップを採用するために、当初計

画した120分枠を全て90分枠に統一しました。海外から複数の演題を登録する人も多数みられました。このため、採択する演題は1人につき最大2演題とし、ワークショップと口述はそれぞれ1演題まで、というルールを適用しました。また、予算の都合上、使用する会場を16会場としました。このため、多くのワークショップ演題を不採択にし、口述演題をポスターに移行せざるを得ませんでした。

以上の手続に従って計2,602の演題を採択しました（採択率86.3%）。演題採択の内訳を表2に示しました。

表2 WFOT 2014 演題登録・採択結果

演題種別	登録数	(Japan)	採択数	(Japan)	採択率(%)	(Japan)
Oral 20分	967	115	623	70	64.4	60.9
Oral 10分	612	333	342	169	55.9	50.8
Poster	1,263	898	1564	954	123.8	106.2
WS 90分	78	12	55	10	37.4	35.7
WS 120分	69	14				
Pre WS half	15	3	14	2	93.3	66.7
Pre WS full	12	0	9	0	75	0
	3016	1375	2607	1205	86.3	87.6

* 数値は演題数を示す。(Japan)の数値はそれぞれ左列の内訳を示し、国内の登録数を表している。

注1: Oral; 口述発表, Poster; ポスター発表, WS; ワークショップ, Pre WS; プレコングレスワークショップ. 注2: WS 120分はなし, 90分に統合した. 注3: 口述から移動させた演題があり, ポスターの採択率が100%を超えている. 注4: 口述20分623題のうち56演題, 口述10分337演題のうち8演題を選定しスペシャルセッション(SS)を組んだ. 注5: ポスター1564演題のうち80演題を選定しガイド付きポスターセッション(Guided poster)を組んだ.

3. スペシャルセッション（口述発表）

「多彩な発表形式を準備する」というWFOT大会の方針と、できるだけ多くの人に発表してもらいたいという願いから、20分の口述演題から得点の高い演題を選び、スペシャルセッションを組みました（表3）。このセッションは、国立大ホール（3000人収容）を使いますが、発表時間は一律15分（発表10分＋質疑応答5分）としました。また、JAOTの推進する生活行為向上マネジメントの演題をスペシャルセッションの1つに組み入れました。

表3 スペシャルセッション

1. Validation of assessment tools: 評価手法の検討
2. Research methods: 研究法
3. Capacity Development: 実践力開発
4. Assessment and intervention in community life: 地域生活と評価・介入 (OT)
5. New perspective on intervention: 新たな介入の視点
6. Driving Assessment and training: 自動車運転評価法と訓練
7. IT/assistive devices: IT/生活支援機器
8. Worldwide OT practice: 各国の作業療法実践
9. Management Tool for Daily Life Performance: 生活行為向上マネジメント (JAOT)

4. ガイド付きポスター（Guided Poster）

多彩な発表形式を準備する一環としてガイド付きポスターセッションを計画しました。ポスター演題の中から得点の高かった80演題を選び、10演題ずつ2会場、計4日間にわたって開催する予定です。ポスター会場のなかに専用スペースを設け、座長がセッションの進行を担い、発表者はポスターの前で7分間の発表と3分間の質疑応答を行います。なお、一般のポスター発表は演題数が多いため1日毎の張り替えとし、発表者は決められた時間にポスターの前で待機する方法をとります。

以上、学会プログラムの概要と演題採択の結果を報告しました。大会期間中は6月17日から21日まで会場はほぼフル回転します。1日の来場者は5,000～6,000人ほどでしょうか？大会運営が無事に進行できますよう、神奈川県士会の皆さまには引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。



What's New 16th WFOT 2014 ~ from Local Operation committee (独立採算特別プログラム委員会より第16回WFOT2014最新ニュース)

Report by Takenori Jimbo

(報告者：神保武則・独立採算特別プログラム委員)

1951年の第1回から各4年に一度開催される、作業療法士の学術大会として最も歴史のある国際学会が、平成26年6月にPacifico Yokohamaで行われます。我々、Local Operation committee（独立採算特別プログラム委員会）は、Team Japan大会組織委員会から選出された神奈川県士会員の5名と東京都士会員、埼玉県士会員との共同で結成されました。委員長は岩瀬義昭先生（鹿児島大学）です。開催地である神奈川が主軸となることは想定できることで、神奈川県士会員の皆様からも多くの意見や協力を仰ぎたいと願っております。

さて、Local Operation committeeの役割は一言でいうと『学会を最大に盛り上げること』です。Welcome reception（6/17・展示ホール）、Congress party（6/19・大榎橋ホール）、施設見学会（大会期間中）、そして文化交流ブース（大会期間中・展示ホール）を企画する使命が課せられました。

先日、6月の大阪で行われた全国学会期間中に、WFOT本部役員が来日され、Team Japanとの進捗報告を兼ねた会議が学会場内の別の会議室で行われ私も委員の一人として出席して来ました。WFOT executive director（常任理事）



のMarilyn Pattison（マリリン・パティソン）やVice president（副会長）のSamantha Shann（サマンサ・シャン）からも企画進行の遅さを指摘されましたが、この大会はアジア圏で日本が初めての開催国でもあり、世界第2位のOT会員数を誇る日本の我々が企画するので、当然企画に関しては時間もかかり、より熟成させた最高の企画を考えていますので、ご心配なく・・・と私は英語で答えましたが、日本と海外の方々との考え方や企画段階での提示方法・構成の違いを改めて痛感いたしました。MarilynからCongress partyはどんな演出があるのか？という問いに対して、「日本のOTも楽しめる演出を考えている。例えば、Japanese swordを取り入れた演出など」と答えると、来日されたWFOT本部役員の4人が『Oh Yeah!! Whaaaa, it's good!!』と盛り上がっていました。なかなか乗りのいい人たちでしたね（笑）。

16th WFOT 2014の参加予定国は世界の73の国と地域で、この横浜に来ます。今までにない最高規模のWFOT学会です。さあ、皆さん、一緒に盛り上げましょう。

Local Operation committeeが作成したFacebookも是非アクセスしてみてください。皆さん、の“いいね”をいっぱい下さいね。そして、HPは今後、大会HPにリンクが貼られる予定となっております。

このLocal Operation committee reportは毎号掲載する予定です。次回の県士会ニュースも沢山の情報を発信していきたいと思っております。楽しみにしてください。

Facebook address ⇒ (<https://www.facebook.com/localopjpn>)

理事会 報告

平成25年度 第2回 一般社団法人 神奈川県作業療法士会理事会 抄録

日時：平成25年7月11日（木）19:00～21:20

場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：渡邊、錠内、中西、内山、奥原、木村、作田、鈴木（孝）、出口、沼田、野々垣、福留、三浦、吉本、澤口

委任理事：鈴木（久） 出席監事：浅井、清宮 その他：水嶋真由美（第15回神奈川県作業療法学会会長）、小峰（広報部）、酒井（広報部対外班）、金山・一志（事務局書記）

●第15回神奈川県作業療法学会（水嶋真由美氏）

・学会実行委員会の紹介及び協力依頼の挨拶があった。

●事務局（澤口事務局長）

①渉外関連

- ・神奈川県医療専門職連合会総会（H25/ 6/26）
出席：木村理事・吉本理事
場所：横浜イーストスクエア3階中外製薬株式会社横浜支店会議室
- ・神奈川県病院協会から名義使用等について
第32回神奈川県病院学会に係る名義使用および研究発表の募集、運営協力について依頼あり承認
- ・平塚保健福祉事務所から表彰候補者推薦について
平成25年度神奈川県保健衛生表彰（平塚保健福祉事務所長表彰）候補者推薦について依頼あり⇒平塚市の規程に準じたところ該当者なし⇒平塚市へ回答済み
- ・神奈川県PT士会公益社団法人化式典（H25/ 6/30）
出席：渡邊会長
- ・訪問リハに関する県内PT/OT/ST士会長懇談会（H25/ 6/30）
場所：県PT士会事務所 出席：渡邊会長、木村理事
*PT士会は秋田会長、相川理事、ST士会は鈴木会長、船橋理事がそれぞれ出席
- ・病院医療関係団体連絡協議会について
次回の幹事は県栄養士会。6/11に引き継ぎを栄養士会事務所にいった。担当：事務専従高橋

②後援名義使用依頼⇒すべて承認済み

- ・神奈川県医療労働組合連合会精神部会自主上映会後援協力依頼「むかしMattoの町があった」（H25/ 7/28）場所：地球市民プラザ（本郷台）
- ・第32回神奈川県病院学会（H25/10/21 13時～18時）
場所：神奈川県総合医療会館7階大講堂他
学会テーマ：「地域医療連携の推進 Part2」参加予定者：医療関係者300名 参加費：無料 県士会の運営協力員依頼については担当の中西副会長に一任。
- ・神奈川県総合リハビリテーションセンターより「第2回かなりは リハ工学福祉機器フェスティバル」協賛名義使用依頼
日時：平成25年10月5日（土）
場所：神奈川県総合リハビリテーションセンター

③OT協会関連

- ・都道府県作業療法士会連絡協議会総会（H25/ 6/27）
場所：エルおおさか 出席：中西副会長
- ・第11回OT協会・士会合同役職者研修会（H25/ 7/27・28）
場所：東京工科大学 出席予定者：木村理事・名古屋事務局次長・金山事務局次長
- ・作業療法推進活動用ポスターについて

今年は発送費等の関係から3名以上の施設に発送することで決定。今後は一人職場こそ、啓発ポスター発送の意義があるとの意見で一致。検討していく。

- ・生活行為向上マネジメント全国推進会議（H25/ 8/17・18）担当者の

派遣⇒地域リハ部に一任

④WFOT関連

- ・都士会より都士会ニュース7月号にてWFOT関連で神奈川県士会の取り組みを記事にしたいと依頼あり⇒澤口事務局長が対応済
- ・各傘下の組織委員会へ神奈川県士会理事が役割を持つ方針を確認。7/15大会運営委員会などを経て調整していく。

⑤その他

- ・4年生大学設立に関する設立同意書（学校法人湘南ふれあい学園湘南医療大学（仮称）より）を受任⇒保健師助産師看護師養成所の指定申請書等に関する指導要領第2条（1）及び手続き別表1に基づき、大学設立の同意依頼あり。

⇒WFOT認可の教育の質を目指すことなどを同意の意見とし、承認。

⑥会員規定の見直し案について

- ・会員の資格喪失の判断をOT協会の規程などを参考に検討した結果、年会費の1年以上の滞納者とする事で合意。また、再入会に関する条項を加える。再入会に際しては、本定款第10条の入会金および未納分を含む会費を納入することとする。最終案を7/19までに修正し、7月号ニュースに同封する。

●財務部（野々垣理事）

①会費について

口座引落しの手続きが完了していない会員に対し、5月下旬に口座振替用紙と郵便振替用紙を811通送付。6月末までに173件の返送あり。⇒8月に引き落とし完了予定。

- ・会計・研修会マニュアル説明会（H25/ 7/ 6）
各部の会計担当に対し、県士会事務局にて開催。参加13名。源泉徴収に関する会計マニュアルの変更や研修会の打ち合わせ時の会議費・交通費の支給、時間貸駐車場の取り扱い（賃借料とする）について説明した。

●学術部（福留理事）

①研修会予定（詳細はnews等を参照）の報告があった。

②学術誌刊行事業

- ・特別寄稿のテーマは生活行為向上マネジメントを予定（木村理事：地域リハ部担当に打診予定）。巻頭言はWFOT関連を予定（錠内副会長に打診予定）。投稿論文：5本程度（県学会一般演題から抄録を読み編集委員が推薦予定）。2月中を発行予定にて調整。

●教育部（奥原理事）

①現職者共通研修（1）（2）（3）（4）予定の報告があった。

②事例報告登録制度研修会（H25/11/ 3）に予定。

③現職者選択研修（H26/ 2/11精神分野）（H26/ 2/23発達分野）

④OT協会教育部生涯教育制度推進担当学会報告（H25/ 6/29）

場所：大阪学会会場内

内容：生涯教育受講登録システム運営開始と生涯教育受講登録システム

登録責任者選任について

⇒生涯教育受講登録システムにより、本年度より現職者研修および基礎研修の個人の受講記録を協会HP確認することができるようになった。それに伴い、各都道府県士会において実施された現職者研修、基礎研修の受講記録をシステムに登録する作業を本年度より実施する。10月以降の予定で、現職者共通研修、現職者選択研修を登録予定、今後県士会主催基礎ポイント研修に広げる。今後SIG団体研究会等にも広げる方向。

⑤部員承認 木村亮太（磯子中央病院）⇒承認

⑥SIG団体認定申請：「作業療法総合研究所」⇒承認

●広報部（出口理事）

①対外広報班

- ・ヨコハマヒューマンテックランド（H25/ 7/26・27）

場所：パシフィコ横浜 内容：体験型ブースの出展（革細工体験）

- ・新宿セミナー横浜校 相談ブース（H25/ 7/19）

- ・作業療法ガイダンス 内容：職業紹介・学校生活の紹介
H25/ 8/ 4：横浜会場アートフォーラムあざみ野（予定）
H25/ 8/11：相模原会場 相模原市内

- ・ラジオ日本出演：日時内容は未定（調整中）

●臨時総会の招集（渡邊会長）

- ・代議員制導入や会員規約の変更に伴い定款の変更を討議するため、H25/10/ 5に臨時総会を招集する。

※紙面の都合で一部割愛・詳細は県士会Webへ（文責：澤口）

生活行為向上マネジメントの概要 part1

OT協会主催の研修会に参加された会員や協会誌を熟読された会員は既にご存じのことと思いますが、OT協会が発表した「生活行為向上マネジメント」に係わる基本方針には 1) 生活行為向上マネジメントを自立支援型医療・介護を具体化する一つの手法として位置付け 2) 制度に組み込まれるよう働きかける 3) 他職種も使えるわかりやすいものにする 4) 都道府県作業療法士会での取り組みを支援する、等があります。

生活行為向上マネジメントは作業療法士が誰でも使えることを原則としておりますので、神奈川県士会員にも熟知いただく必要があります。

県士会ニュースでは生活行為向上マネジメントについてシリーズで解説していきたいと考えております。OT協会誌と併せて熟読をお願いいたします。

1. 用語の整理

生活行為向上マネジメントという用語は2008年度以降、協会が取り組んできた厚生労働省老人保健健康増進等事業（以下、研究事業）が始まりです。生活行為向上マネジメントの内容は作業療法そのものと言えますが、生活行為向上マネジメントという手法を他の職種にも広く活用してもらうために、あえて「作業」または「作業療法」という表現を前面に出さないというのが協会の方針であり、厚生労働省の意向でもあります。

2. 適用範囲

これまでの研究事業では急性期病院においても生活行為向上マネジメントの有効性が検討されていますが、現段階では、高齢者を主対象とする医療・介護保険領域での適用が想定されています。

しかし生活行為向上マネジメントのノウハウは作業用法の一部として高齢者のみでなく、若年の障害者、発達障害や精神障害をもつ人達にも役立つと思われます。今後の研究によって、生活行為向上マネジメントの適用範囲が拡大されることが期待されています。

3. マネジメントである意味

マネジメントとは、目標や目的を達成するために必要な課題を分析し、それらの解決のために手を打ち、組織に成果をあげさせることです。この組織を動かしていくという視点をもつということが、プログラムやセラピー、アプローチではなくマネジメントである所以です。

なお生活行為向上マネジメントは、対象となる人の生活を支援する包括的な実践方法そのものであり、「マネジメント」は「管理」ではなく、支援の流れ、あるいは支援の計画であることを認識する必要があります。

4. 生活行為の考え方

H23年度に改定された作業療法用語集から「生活行為とは人が生きていく上で営まれる365日24時間連続する生活全般の行為」と定義されています。生活全般の行為とは（図1）、セルフケアを維持していくための日常生活活動（ADL）の他、生活を維持する手段の日常生活活動（IADL）、仕事や趣味、余暇活動などの行為すべてを含むものとしています。

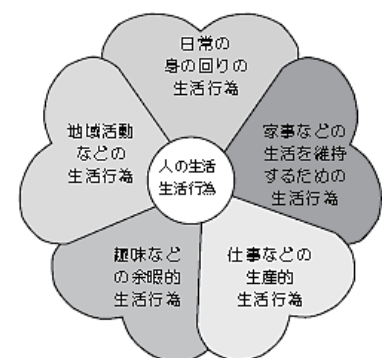


図1 私達の生活はさまざまな生活行為の連続で成り立っている

（文責：地域リハビリテーション部 木村）

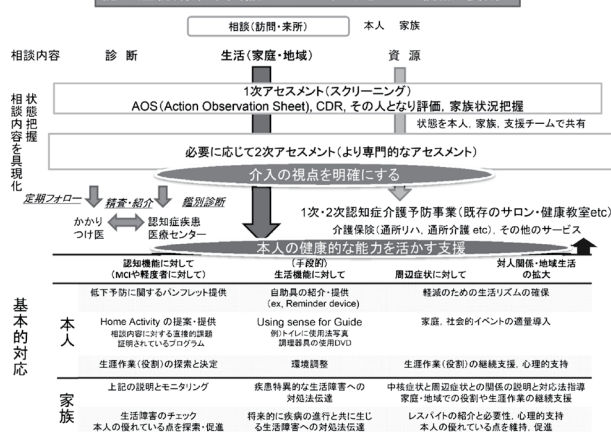
認知症初期集中支援チームのモデル事業が開始されます

今年の6月初めに新聞等で大きく報じられましたので、まだ記憶に新しいと思いますが、厚生労働省研究班による最新の推計によって、平成24年の認知症高齢者は約462万人、その予備軍である軽度認知障害（MCI）の高齢者は約400万人と推計されました。

MCIの高齢者が認知症へ移行する割合は10～15%程度と報告されていますが、合計すると約862万人が認知症とその予備軍ということになり、これは高齢者の4人に1人にあたります。

このような認知症高齢者の増加に対応するため、昨年9月に「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」が策定されました。そして、その計画に示された7つの課題の1つである「早期診断・早期対応」に向けた支援体制を構築するため、「認知症初期集中支援チーム（以下、支援チームという。）の設置」が示され（図1）、支援チームの構成員として作業療法士という職名が記載されました。

認知症初期集中支援チームにおけるOTの視点・役割



2 訪問支援の対象者

40歳以上の在宅生活者で、認知症が疑われる人又は認知症の人

- (1)医療サービス、介護サービスを受けていない者、又は中断している者
- (2)各サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状（BPSD）により対応に苦慮している事例

3 実施主体及びチーム員の構成

市町村を実施主体とし、チーム員を地域包括支援センターや診療所等に配置する。

4 チーム員の職種

- (1)「保健師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、介護福祉士」等の医療保健福祉に関する国家資格を有する者
 - (2)認知症ケア実務経験3年以上又は在宅ケア実務経験3年以上を有する者
 - (3)国が別途定める「認知症初期集中支援チーム員研修」を受講し、試験に合格した者
- ※上記チーム員に加えて、チーム員をバックアップし、認知症に関して専門的知見からアドバイスが可能な専門医を確保すること。

独立行政法人 国立長寿医療研究センター「認知症の初期集中支援サービスの構築に向けた基盤研究事業事業報告書」（平成25年3月）より一部改編

8月2日、3日には認知症初期集中支援チーム員研修が開催され、今年度モデル事業を実施する14の自治体が決定しました。

残念ながらこの中には神奈川県内の市町村は含まれていないため、この支援チームに直接参画する当県士会員はいないと思われます。これはとても残念なことですが、1人でも多くの会員の皆様に、この認知症施策の動向に関心を持っていただくために、地域リハビリテーション部では今後もこの話題についてお知らせして参ります。

（文責：地域リハビリテーション部 金沢）

認知症初期集中支援チームの概念図

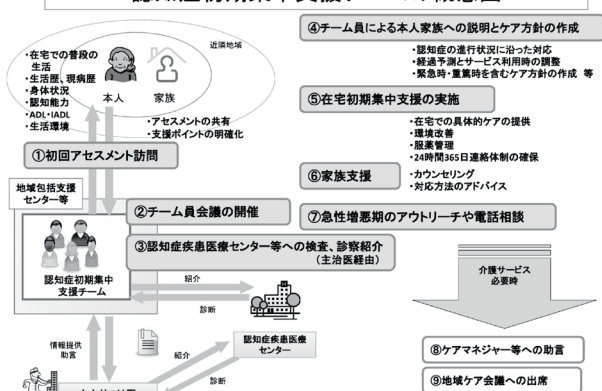


図1 厚生労働省社会保障審議会介護保険部会（第45回）資料5より
http://www.mhlw.go.jp/file.jsp?id=146269&name=2r98520000033t9f_1.pdf

このことは、認知症高齢者に対する作業療法の手引の作成や、認知症高齢者の家族支援プログラムの実施、公益的な研修会の開催等々の実績が評価された結果であり、作業療法士に対する期待と社会的な要請ではないでしょうか。

この支援チームを平成27年度以降に全国へ普及させるため、今年度からモデル事業が開始されますが、日本作業療法士協会においても、「認知症初期集中支援チーム対応プロジェクト」を設置し、この支援チームにおける作業療法士の視点や役割及び実際にOTが支援チームに配置されることを目的として活動を開始しています（図2）。

認知症初期集中支援チームについて

1 定義

認知症の人や家族に関わり、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行う複数の専門職から編成されるチームをいう。

認知症の作業療法 前編

石川県立高松病院 作業療法士
村井千賀 先生

—はじめに、村井先生が認知症と関わるようになった経緯について教えてください。

地域でOTとして何ができる？

元々私は県の職員として保健所で働いていて、機能訓練事業で脳卒中の方や、地域で暮らす障害者の方々の支援をしてきました。その他に、難病者の在宅支援や小児の喘息教室、幼児発達相談、療育相談、その延長線上の保育所指導、一般高齢者の介護予防など、あらゆる世代の方々に「地域」で支援してきた経緯がありました。その間もずっと考えていました。「OTとして何ができるだろう」と。

7年前に人事異動で、高松病院の認知症治療病棟の担当になりました。そこで、一人ひとりのケースについて考えているうちに、やはり作業療法というものは、病名に関係なく、歴然とした考え方があるな、という考えに至りました。

クリティカル・パスとの出会い

それより以前のH11年に、回復期リハ病棟の前身であるリハビリテーション専門病院に勤める機会を頂きました。そこで手の外科の作業療法を学びました。その時に初めて、クリティカル・パスの考え方を医師から教えてもらい、「そうか、手順が大事なのだ」と気がきました。手順を明確にすることで入院期間を短縮し、機能を衰えさせずに退院につなげる。ケースを担当した時に、ケースの求める生活は？どこまでできるようになる？そのためには、どんな手の機能が必要？手術方法は？など、とことんディスカッションしました。その医師は、OTをととても大事に考えてくれる方でした。医師の手術方法に合わせて、OTが治療法を付けていく。その経験を通して、作業療法にとってプランがいかに大切かということを知りました。



村井千賀 先生

profile

石川県の作業療法士として保健所に勤務し、あらゆる世代の地域生活支援に携わった後、リハビリテーション専門病院を経て、7年前より現職である石川県立高松病院の認知症治療病棟に勤務。厚生労働省老人保健健康増進等事業の受託研究として、日本作業療法士協会が取り組んでいる人の作業・生活行為に焦点をあてた支援である「生活行為向上マネジメント」の第一人者。

手は治せないけれど、主婦だったらできる

リハ病院では、患者さんが入院する時にまず「どういう生活が送りたいか」ということを話します。患者さんはセラピストに「手を治してほしい」といいます。でも、手が治ったら何をしたいのかが大事。主婦として家事をしたい？それとも、仕事に戻りたい？それが、その方のゴールです。「手は治せないけれど、主婦だったらできます」「手は後遺症が残るけれど、仕事復帰はできます」。それが言えるのが作業療法です。

私が一番感動したのは、C3.4の不全麻痺で首から下が動かない頸髄損傷の方との関わりです。その方は、「一人で暮らして、インターネットで色々なことを自分で調べて」と、私に希望を言いました。電動車いすを使って、福祉用具と在宅のサービスを整えて。重度の状態でも一人暮らしができるように整えました。

リハ病院での経験を通して、大事なのは「身体機能」ではない、「作業」と「生活行為」が大事なのだと、教えてもらいました。麻痺は治りません。それだというのに、「サギ」のように、嘘をつき続けて、患者さんに「身体が治る」と言っている。医師たちは私にこう言います「OTは嘘つきだ。俺たちが直せないのに、なんでOTが治せるんだ！」と。作業療法士じゃなくて、「サギ」療法士です。「サギ」のプロならばまだいいけれど、アマチュア詐欺。だから、患者さんたちが作業療法を受け入れないのです。

生活主体はみんな一緒。手が使えなくても、足が使えなくても、生活はできるのです。それを医師たちに言ったとき、「後方でOTが支えてくれているから、安心して手術ができる」と言ってくれました。後遺症が残ることはわかっている時にも、医師は手術をしなくてはならない。だけれど、「麻痺は残りました。でも大丈夫、生活はできます。OTに任せましょう。」と言えるわけです。

OTは大事なのです。でも、多くのOTは自己否定をして、PTの真似ごとのように機能訓練ばかりをして、何とかなると思っている。それは嘘。そこにまず気付かなくては。

認知症の方ほど「作業」を求めている

認知症も、全く一緒なのです。認知機能の低下は治らない。それでも、機能が落ちた状態で生活できるようにしていくことが大事なのです。認知症の病院で働くようになって、「やっぱりそうだ」と思いました。認知症の方ほど「作業」を求めています。病院に入院しているおじいちゃん、おばあちゃんは、1日中何もすることがない。毎日、24時間、とても暇。彼らにとって一番大切なことは、生活ができること、それも誰にも迷惑にならずに。別に、前と同じように家事ができなくてもいいんです。その方の昔とった杵柄で、何か作業ができれば幸せだし、自己有効感を保つこともできます。

認知症の方は、ほとんどの行為が、認知機能低下のためにうまくいなくなります。自分でも何でだろう？と思っているのだけど、それでもまた失敗してしまっ、もたもたしてしまう。したいのだけど、うまくできない。できることを、自分自身でさせてあげることで、彼らはとても落ち着きます。精神行動症状（BPSD）のある方は、不安で、不安でたまらないのです。だから、怒ったり暴れたり徘徊したりします。その方のしたいこと、したい作業ができたときに、不安が軽減されるのです。

—認知症の方にもできること、できる「作業」が必要だということですね。

―村井先生は7年前から認知症に関わるようになったそうですが、まず何を意識して働きはじめましたか？

はじめに、一人ひとりと面接をしながら、その方の残存する国際生活機能分類（ICF）の精神機能の評価をしていきました。記憶は落ちていても、ICFでいう高次認知機能（洞察、認知の柔軟性）が高いと、失敗に気付くことができます。気付けることを教えていくことで、短期記憶が落ちていても、エピソード記憶で覚えることができます。OTは精神機能をしっかりと理解して、どの機能が落ちていて、どの機能が残っているのかを知らないと、どういう関わり方によって、その方ができるようになるのかを指導できません。それをしているOTがいない。何となくやってしまっている。

原因を特定しないと、OTとしてプランは立てられません。個別の精神機能を見極めた上で、その人のしたい作業をしっかりと組み立てる。それがOT。作業をさせることは、誰でも気が付きます。だけど、精神機能や身体機能を見極めて、作業を組み立てることは、OTにしかできません。

―OTとして認知機能の評価をして、その上で作業を組み立てる。当たり前のことであるはずなのに、曖昧になっていることが多いかもしれませんね。

「作業」を見つけられたら、OTは一人前

重度の方であっても、何か自分でできる作業があれば、満足できます。ある方は、いつも糸巻き作業をしています。元々は船乗りだったそうで、ロープを巻くこともあったでしょう。タコ糸をぐるぐる巻くことを「仕事をしている」と思っている。日中は何も無いときは一日中歩き回っている。しかし、作業後は、とても落ち着きます。人生の中で、過去の手続き記憶だったり、生き方・生き様というものは、作業の組み立ての中で、とても大切です。

作業はすることは誰でも思いつく。でも、導入の仕方、環境設定、なおかつ本人の好きなロープの素材じゃないとダメとか、そういう細かなところはOTじゃないとできない。15分で満足する方もいるし、例えば糸に触るだけで満足する方もいます。

ある方は、ただ糸をもちゅもちゅとひっくり返して、ぱっと机に置いて、「今日はこれぐらいいいですか？」と私に言います。「いいですよ、今日もいっぱい仕事してくれて、ありがとう」と返事をします。実際には何も無いんですよ。ただ糸がぐちゃっとなっているだけ。それでも、「私でも役立てましたか。また明日よろしくお願いします」と言って、どこかへ去っていきます。しばらくすると、いつのまにか戻ってきて、もう一度糸をもちゅもちゅと触って、私に「今日はこれぐらいいいですか？」と言います。

本人にとっては、それが「作業」なんですね。それだけで本人は1日安心します。誰かの「役に立った」と。そういう作業を見つけられるのは、OTしかいません。これはOccupational justice（作業的公正）という言葉に近いと思います。

作業を見つけられるようになったら、OTは一人前です。でも、なかなか見つけれられない。糸をもちゅもちゅするのが作業だと思わない人には、作業は見つけれません。

―作業を見つけるために工夫していることはありますか？

私は、オートメーション化しています。何のことかという、糸切るだけの人、糸巻く人、巻いた糸を成

形する人、それを使って製品作る人、それをほぐす人、という感じで、みんなそれぞれが發揮できる場面を作るのです。若年性認知症の方はとくに仕事をしがたりますね。毎日毎日、字を書いている方がいて、書いた紙がたくさん溜まっていくのだけど、私はそれを裏紙にしたいと思うわけです。そこで、紙を折る人、ハサミで切る人、束ねる人、なんていう風に、これまたオートメーション化しています。ぐるぐると仕事が回っていきます。

作業ができる環境づくりしていたら、徐々に医師たちが認めてくれるようになりました。作業をすると、ある程度の時間は集中できるようになって、安心感がでてきます。病棟でも徐々に落ち着いてきます。人の話を聞けるようになるし、不穏な行動もなくなる。いかに「作業」が大切か、ということです。

「作業」の申し送り

在宅では、よくデイサービスに行くことを拒否する人がいますね。私は必ずデイサービスに「作業」を申し送るようにしています。「作業」を申し送って、デイサービスで仕事をしてもらうのです。外来の時に、その方の作業を見極めて、デイサービスに申し送る。私の勤務先の医師は、作業療法士を医師の診察の横につけています。それがいわゆる早期認知症支援チームです。早期に関わることの一番の効果は、BPSDを起こさないこと。認知症と診断された時点ではなくて、認知症かどうかまだわからないけれども日常生活に支障が出始めたときから関わるのが、大事なポイントです。そのタイミングを間違えてはいけません。その方の能力に合わせて、生活の中に作業が継続できるまたは取り入れられる段階を整えていくのです。編み物一つだって、棒針→かぎ針→スティック手芸→ぼんぼん手芸→糸巻き段階づけをしていながら、その方がいつまでも毛糸に触れるようにします。亡くなるその日まで、毛糸に触れていられるように。早めに作業を見極めて、早い段階から、重度になるまでできるように、作業を仕掛ける必要があります。

作業を申し送ること、これが一番喜ばれます。デイサービスで、ふらふらしていても困るでしょう。本人も「やった」という気持ちになれて、落ち着いていて、それが一番みんなにとってよいことでしょう。デイサービスに「作業」があれば、その方にとってデイサービスは仕事場になるのです。「今日も仕事行かなきゃ」とね。作業をした後に、「お仕事お疲れ様です。ご飯も食べていってくださいね」と声を掛けると「あら、ご飯もでるの？悪いわね。」なんて言ってくれますよ。

「作業」の申し送りを通して、だんだんと介護と医療のネットワークを作っています。ケアマネジャーだって、退院して家に帰る前には「OTから作業を教えてもらわなければならない」という意識に変わっていきま

―「作業」を申し送る。これは何より大切でありながら、OTがあまりできていないことかもしれませんね。

早期認知症の人には、自宅で作業ができるように、作業のデリバリーをしています。その方が自宅でできる作業の環境設定をして、自分でできるようにすると、飽きずに一日中廊下を掃いていたりしますから。その姿を見た家族もまた、素直に「ありがとうね」と言える。そういう風にして「作業」に追い込みます。別名、「作業の追い込み漁」と言っています（笑）。

次号につづく（文責：地域リハビリテーション部 河村）

各部からの報告

教育部

○連載！

県士会ウェブサイトから質問ができます！

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、生涯教育制度関連の情報を毎号少しづつお伝えしています。

1. 県士会SIG認定団体に1団体を承認しました（7月理事会にて）

名称：作業療法総合研究所（OT総研、OT Lab）

神奈川県県士会では現在18団体を認定しています。この団体主催の研究会・学会等は参加証明書によりOT協会生涯教育制度の基礎ポイントとなります。各団体の詳細は、県士会ウェブサイトの生涯教育制度コーナーをご覧ください。

2. 事例報告登録制度研修会に関して 申し込み受付中！

詳細は今号チラシ、ウェブサイトにて

11月3日（祝・日）10：30～12：00（受付10時より）

ウイリング横浜

*詳細は同封チラシをご覧ください。

*現職者共通研修開催日の午前中に開催、現職者共通研修とは別の研修会となります。

3. 現職者共通研修 申し込み受付中！ 詳細は先月号ニュースチラシ、ウェブサイトにて

9月28日「作業療法生涯教育概論」、「作業療法の可能性」、「作業療法における協業・後輩育成」

9月29日「実践のための作業療法研究」、「保健・医療・福祉と地域支援」、「日本と世界の作業療法の動向」

11月3日「事例報告と事例研究」、「職業倫理」

4. 現職者共通研修「事例報告」、「事例検討」のご案内

を同封チラシに掲載しましたので、今から準備を進めてください。

生涯教育制度に関してご不明の点をご連絡ください。

県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

教育部 奥原孝幸（昭和大学）

045-985-6500（代）、kyoiku@kana-ot.jp

ウェブサイト管理委員会

○求人情報を（無料で）掲載します

入力フォーム：

<http://kana-ot.jp/wp/offer/input>

よこ太：欠員のままだと仕事、きついねえ...

ハマ子：あたしなんて血尿出ちゃったよ。

よこ太：ぼくなんてお腹が出ちゃったよ。

ハマ子：それは単に食べすぎでしょ!?

よこ太：じゃええ！

ハマ子：あんたが言うとか愛くないって（怒）

よこ太：ところで求人にかけてるのかな？

ハマ子：学校に求人票を送ったとは言ってだけど...そうそう、県士会サイトの求人情報にうちの病院、出てなかったんだよね。

よこ太：えー！?!

ハマ子：掲載依頼するよう事務に言わなきゃね。

よこ太：そうそう、だって掲載、無料と書いてタダだもん！最近是有料のサイトも増えているし、依頼しない手はない！

ハマ子：けっこう閲覧されてるらしいし。

よこ太：どれどれ、下のアクセスランキングによると...7月の求人情報のページには8794件のアクセスがあった！すごい！

ハマ子：1日平均で約284件のアクセスがあったことになります。求人情報は県士会サイトからオンラインで掲載の依頼が簡単にできます。作業療法士を探している場合は、ぜひ県士会サイトの求人情報ページを利用してください！

（文責：ウェブサイト管理委員会 作田）

平成25年7月 アクセスランキング

- 1位 作業療法Tips & PDF 22940件
- 2位 講習会・研修会 19680件
- 3位 必見！OTのすご技・アイデア集 15914件
- 4位 求人情報掲載板 8794件
- 5位 月刊よっしーワールド 4600件

平成25年7月 県士会ブログランキング

- 1位 ウェブ管的知恵袋 381件
- 2位 つぶやきshow!! 202件
- 3位 Hideki Tanaka's Blog 199件

更新件数：77件 訪問者延べ数：21542人
Kanaからの手紙発行回数：23回 登録者：183名
Twitter (ID:kaotwebkan)：フォロアー234名

地域リハビリテーション部

○研修案内

- (1)「第1回 神奈川県訪問リハビリテーション地域リーダー研修会」12／8横浜リハビリテーション専門学校
- (2)「第3回 神奈川県訪問リハビリテーション地域リーダーミーティング」2月開催予定
- (3)「生活行為向上マネジメント講習会」2月開催予定

＜訪問リハ実施施設の掲載＞

県士会ウェブサイト「地域リハの”わ・輪・和”」というコンテンツを掲載しています。

<http://kana-ot.jp/wpm/cbr/>

その中に”訪問作業療法実施施設”をみなさまの協力のもと掲載いたしております。

昨年度から作業療法士の所属施設のみならず、理学療法士や言語聴覚士の所属施設も掲載するように適用範囲を拡大いたしました。

神奈川県民への有益な情報源ですので、未だ掲載して

いない事業所の方々には是非ともご協力をお願い申し上げます。

＜生活行為向上マネジメントの普及活動について＞

「生活行為向上マネジメント」を普及するため、各施設・事業所にて説明会を実施いたします。ご希望される場合は詳細をお知らせいたしますので、必要事項を記入のうえ、下記宛にEmailにてご連絡ください。

宛先: chiikireha@kana-ot.jp

地域リハビリテーション部 木村宛

件名:「生活行為向上マネジメント説明会希望」

内容: 1) 所属施設名

2) 所属施設住所

3) OT部門代表者

4) 窓口担当者

5) 連絡先TEL

6) 連絡先Email

7) 所属OTの人数

8) 希望日時(複数指定)

(文責: 地域リハビリテーション部 木村)

福祉用具委員会

○福祉用具相談支援システムについての紹介(パート3)

神奈川県相談アドバイザーの村越、沼田、田畑です。そして、新アドバイザーとして牧山が加わりました！よろしくお願ひ致します。

今回は、①福祉用具相談支援システムの紹介と、②相談利用の際のワンポイントを紹介したいと思います。

①福祉用具相談支援システムとは

簡単に説明すると、県士会員の皆様からの質問を神奈川県相談アドバイザーの私たちが、Web(インターネット)を通して福祉用具に関する相談に答えるものです。

インターネット検索で「福祉用具相談支援システム」と検索すると出てきます。(URLは<http://www.jaot.info/>)

今回は、登録方法の流れもご紹介します。

- (1)まずは、全員が共通の登録用のIDとパスワードがあります。

ログインID: **yokaot** パスワード: **otot**を入力し、利用者登録をします。

- (2)次に、個別のログインIDとパスワードを登録して相談が可能となります。

(個別のログインIDは協会会員番号となり、パスワードは登録時のEメールアドレスになります。)

*協会に入会していなければ利用登録ができませんのでご注意ください。

- (3)相談項目を入力し、相談開始です！

②相談利用の際のワンポイントについて

相談する際に文字(言葉)だけでは、細かい点などを伝えきることが難しい状況がありますよね。

そのような場合でも大丈夫です。相談項目の欄に、デジタルカメラで撮影した写真を添付して相談していただくことが可能となっております。

相談項目欄の、「ファイルアップロード」という欄から添付が可能となっております。(写真は3枚まで添付可能。)より詳しい情報を頂けると、私たちアドバイザーも相談時の対応として情報提供が行いやすくなりますので是非ご活用ください。

今後ですが、福祉用具相談支援システムの利用をしやすくするため、県士会員の皆様にもっと相談しやすい環境を準備していきます。

患者さんの生活をサポートするために、大きな力を発揮する福祉用具たち。OTにとっては強力な武器の一つです。でも、数ある製品を患者さんの状況に応じて使いこなすのは至難の業ですね…「誰かに相談してみたい!」「もっとよい支援を考えたい!」「何かいい製品はないかな?」そんな困ったときは、気軽に福祉用具相談支援システムを利用してみてください!

広報部

○学生を対象とした企画

新宿セミナー横浜校にて相談ブースを出展しました！

平成25年7月19日新宿セミナー横浜校にて、今年も夏期合同入試ガイダンスに参加してきました。当日は、医療系の養成校に交じってブース出展し、高校生を中心にリハビリや作業療法について説明させていただきました。

相談者からは「作業療法についてもっと知りたい!」「リハビリの仕事をしたいが、理学療法と作業療法はどう違うの?」といった質問が多く寄せられました。なかには、どんな勉強をしておいたらいいのか、どんな性格の人がこの職業に向いているのか、と鋭い質問をしてくださる方もいて、驚きつつも嬉しく感じました。

高校生とは思えないほど熱心に、将来について、作業療法について考えてくださっている方々と触れ合うことができ、我々もとても頼もしく感じました。今後も、作業療法の魅力を伝えるべく、活動を行っていききたいと思います。

(文責 増田)



○一般県民を対象とした企画

ヨコハマ・ヒューマン&テクノランドに出展しました！

7月26・27日 みなとみらいのパシフィコ横浜にて、ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド（通称ヨットek）が開催され、県士会でもブースを出展しました。

ヨットekとは、横浜市リハビリテーション事業団が主催するリハビリテーション関連ブースや福祉機器等の展示会です。県士会ブースでは、作業活動の無料体験（革細工でしおりづくり）・相談コーナーを設け、多くの方に活動を通して「作業療法」を知って頂く機会となりました。

2日間での来場者は1万5千人超！ブースには、作業療法を知っている方から知らない方までお越しくださり活動を通して「作業療法」を知って頂く機会になりました。

また、パシフィコ横浜は来年のWFOTの会場でもあります。県内外からWFOTの実行委員の視察も行われました。

○対外広報班よりお知らせ（^-^）／

広報部対外広報班では、多くの県民の方に作業療法を知って頂くための活動を行っています。活動にご協力して下さる会員の皆さまを募集しています。ご興味のある方は県士会事務局までお問い合わせください。

次回はラジオの報告の予定です。お楽しみに～（^-^）

(文責 酒井)



福利部

○新入会員歓迎会のお知らせ

(もちろん現会員も歓迎です！)

神奈川県士会の歓迎会を行います。前回のニュースに案内を同封しましたが、見ていただけましたでしょうか？
9月28日の現職者共通研修終了後に開催しますので、新入会員同士の交流を深めたい方、県士会に興味がある方はぜひ参加してみてください！もちろん現会員の皆さんも参加O.Kですよ～☆歓迎会では新入会員同士の交流や理事との交流（理事の先生方が一同に集まる機会はなかなかありません！）など参加者が楽しめる内容になっています。決して堅苦しい内容ではないので、気楽に参加してください。さらに、歓迎会終了後にもっと交流したいと思った方安心ください！懇親会も行う予定ですので、多くの方の参加をお待ちしています。

会場：横浜リハビリテーション専門学校（神奈川県横浜

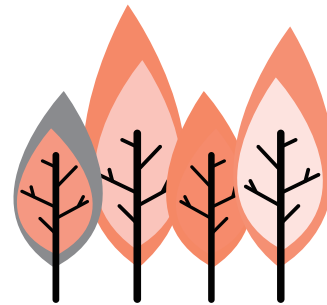
市戸塚区品濃町550-1）JR「東戸塚」駅東口から徒歩 3分

日時：平成25年9月 28日（土） 16：30～18：00（現職者共通研修終了後）終了後、懇親会も行います

会費：無料 ※歓迎会後の懇親会参加の方は4000円（終了後、近くのお店で懇親会を開催する予定です。）

問い合わせ：吉本雅一（湘南鎌倉総合病院）

fukuri@kana-ot.jp



○職場見学会

主催：神奈川県作業療法士会 福利部

日時：平成25年11月27日（水） 13：00～

場所：社会福祉法人 湘南愛心会 介護老人保健施設かまくら（老年期領域）

*精神科領域は打診中。詳細は決まり次第追って県士会HPで連絡させていただきます。

内容：今年度より、職場見学会は各回テーマを決め実施します。今回のテーマは『特色ある取り組みを行っている病院・施設』です。第1回目は老年期領域・精神科領域の2領域の見学会を実施します。

老年期領域では、『学習療法』に取り組まれている、介護老人保健施設かまくらです。リハビリテーション科では『学習療法』を取り入れており、教材を用いた学習を、学習者と支援者がコミュニケーションを取りながら行うことで、コミュニケーション能力、身辺自立機能などの前頭前野機能の維持、改善を図っています。また、身体拘束廃止推進施設としても取り組まれています。

『学習療法』は、近年では茂木健一郎氏や脳トレゲームで世界的にも有名になった川島隆太氏などにも紹介されご存知の方も多いと思います。ぜひ、

現場で取り組みを実際目で見て、それぞれの病院・施設に生かして頂ければと考えています。

この機会に是非ご参加下さい。

対象：神奈川県作業療法士会員で今年度会費納入済みの方
*神奈川県在勤の作業療法士で、神奈川県作業療法士会未入会または今年度会費未納の方は、受講できません。

参加費：無料（*交通費自己負担）

定員：各10名程度（先着順）

申し込み方法：

- 1) E-mail（携帯メール不可）にてfukuri@kana-ot.jp（神奈川県作業療法士会福利部）までお申し込み下さい。
- 2) E-mailは題名を「職場見学会 受講希望」とし、本文に、1.参加者氏名、2.勤務先、3.E-mailアドレス、4.OT協会番号、5.所属の県士会名 の記載をお願い致します。

参加の可否及び詳細はメールにて返信させていただきます。

申し込み締め切り：11月15日（金）まで

生涯教育ポイント：なし

問い合わせ：fukuri@kana-ot.jp 福利部：吉本・池嶋まで

より良い卒後教育環境を目指して

～SIGの連携～

湘南OT交流会 藤本一博（OTR、MSOT、認定作業療法士）

はじめに

湘南OT交流会（当会）は、神奈川県士会の認定を受け活動しているSIG団体です。作業療法士（OTR）は、国家資格を有する専門職ですが、多くの臨床家は「作業療法（OT）が説明できない」「OTの効果を説明できない」「作業の選択ができない」など、様々な疑問と悩みを有しています。この問題を打開するため、手探りで各種研修会へ参加し、時間と費用を消費する。しかし対費用効果が低く、消費に見合ったスキルや知識の獲得が困難であったと感じるOTRは少なくない。湘南OT交流会は、こうしたOTRの要望を受け、設立した団体となっており、5年前から湘南茅ヶ崎で運営しています。今回は、これまでと、今後の取り組みについて、述べさせていただきます。

卒後教育の問題

筆者自身も、認知運動療法、AMPS、人間作業モデル、作業科学、ボバース、EBOTなど、様々な内容を学ぶため、有給休暇を消費しながら日本全国を回り、数十万円を1年間で消費した経験があります。果たして専門職の卒後教育として、このように多くの時間と費用を費やす状態では、学ぶことのできない環境は健全と言えるのでしょうか？専門職の発展が得られづらい環境であると感じています。そのため、当会では、要望のある内容を、できる限り提供し、地元OTに対し、効果的な教育環境と一緒に作り上げようと、努力してまいりました。



湘南OT参加者の要望からみる提供内容の変化

立ち上げ当初は、茅ヶ崎や平塚、藤沢、横浜など、若い地元OTの参加が多く、ハンドリングなどの徒手的な内容や、認知運動療法や感覚統合などのニーズが強かった印象があります。しかし、臨床ではテクニックに依存し、理学療法と似たセラピーを実施していると述べる参加者も多く、「理学療法と作業療法の違い」「作業療法の専門性」に悩む状態が、多く寄せられるようになってきました。そこで、カナダ作業遂行モデルやAMPSといった、作業療法独自の理論、評価法を提供するようになると、参加者は、関東、東海、北陸と、遠方からの参加者が増えてしまいました。その方々は、作業療法の独自性を持った臨床をしたいという要望が強く、遠方であっても問題ない！と強い意志を持って参加される方々ばかりでした。要望に応えようと、トップダウンスキル講習など、専門性を持った臨床を行う方法を提



供したところ、先日行われた湘南OT交流大会では、北は北海道、南は九州、沖縄など、全国から延べ500名以上の方に足を運んで頂きました。

今後の試みと第47回日本作業療法学会での発表

湘南OT交流会が大きくなり、全国に認知されるようになったことは、喜ばしいのですが、本活動の本質から外れていると感じ、会員に対しアンケート調査を行いました。その結果、「作業療法の独自性を持つ勉強会が他にはない」「地元で勉強会がない」「近隣の勉強会は盛りあがらない」など、学ぶ機会、環境の乏しさが見受けられました。この現状を先日行われました日本作業療法学会にて報告し、ポスター前に来て下さった多くの皆さまとディスカッションをしました。その内容を踏まえ、今後行う予定である当会の試みは、

① SIG立ち上げのサポート

学ぶために全国各地をめぐる必要がない様に、地元密着の会が全国に立ち上がることを願い、当会のノウハウや、宣伝サポート、講師の派遣などのサポートを行うこととしました。

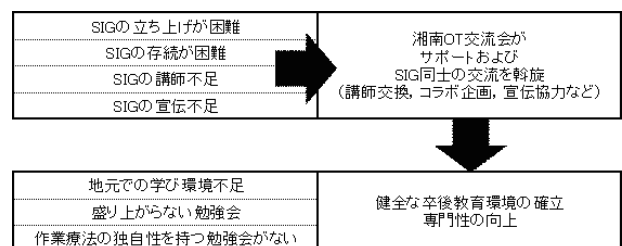
② SIGの交流による広がり

SIGの運営は、大変な作業です。特に労力を費やすものは、ニーズに応える企画の立案と宣伝ですが、マンネリ化せず、新たな試みを導入し続けることができれば、ニーズに応え、多くのOTを育てるでしょう。しかし、とても難しい作業なのです。この問題をクリアできず、様々な集団が立ち上がり、そして消えていく悲しい現実がありますが、SIG同士がその企画や講師を交換し、お互いの宣伝力を持って協力し合ったのであれば、その問題は打破できる可



能性があります。学びたいOTが、全国を回るのでなく、学びたいOTが全国から講師を呼び、地元を広める！この構図の方が、負担が少なく、大きな効果を生み出すとの印象を持っています。そのため、SIGとの交流を通じて、お互いを高められるような交流を行っていく予定です。

今後の理想図



全国に点在する様々な勉強会に関する問題に、当会は介入を行う予定です。全国に多くのSIGを立ち上げ、SIG同士の交流を促し、卒後教育の環境改善を試みます。まずは、埼玉の「東京スカイツリーラインOT cafe」、東京の「信念対立解明cafe」、神戸の「作業乃風」さんとコラボを予定しています。当会と他SIGとの講師交換を通じて、お互いを高め、各地域の教育環境を潤したいと考えています。このような活動が、皆さんの目に触れ、新たな行動につながることを願っております。

皆様の活動や取り組みを県士会ニュースで紹介してみませんか？

詳細は、メールにてお問い合わせください。kouhou@kana-ot.jp (担当 小峰)

以下、1から2の条件に該当する場合、掲載を考慮いたします。

1. 一般社団法人神奈川県作業療法士会に所属している会員である。
2. 神奈川県作業療法士会員または神奈川県民にとって、有益である。

依頼者の営利目的の割合が大きいと広報部が判断した場合、または理事会にて掲載が不適切と判断された場合は、掲載を遠慮いただく場合がありますのでご了承下さい。

S I G 紹介

作業療法総合研究所 (OT Lab)

作業療法総合研究所 (OT Lab) は、作業療法に関する様々な取り組み、情報やアイデア、知識をシェアするプラットフォームとして2013年1月11日に設立されました。OT Lab発足のきっかけは「こういうことが対象者の役に立つのではないか」「作業療法士としてこんなことは出来ないか」という様な、たくさんの作業療法士達とアイデア(夢)を語り合ってきたことに始まります。多くの作業療法士の内には「作業療法」をより良く展開する素晴らしいアイデアがまだまだ眠っています。「何とかその実現を手助けできる場はないか?」「無ければ作ってしまおう!」ということで、OT Labは誕生しました。

新しいアイデアの実現の際には失敗や試行錯誤が付きものですが、例え上手くいかなかったとしても、その過程の中にはきっと誰かに役立つことの「種」が隠されているはずです。ですので、OT Labではチャレンジする作業療法士を歓迎しますし、様々な異業種の方達ともオープンに議論をしていきます。

自分達の原点である「作業療法」をもう一度見つめ直しつつ、その新しい可能性を模索していく場としても利用して頂ければ幸いです。これからもいくつか企画やイベントの準備を進めておりますが、皆様からの「作業療法」にまつわるアイデア・企画の持ち込みも大歓迎です。まだ出来たてのSIGですので、御手伝いして下さるメンバーも募集しております。興味がある方はぜひご参加ください!



電子工作体験研修会：反応速度測定器を試している様子

作業療法地域連携会@sagamihara

“さがみっばら”かつてはこのように呼ばれ、土地の端から端まで見渡すことのできた相模原市ですが、現在では大手私鉄会社の開発により都心まで30分でアクセスできるようになり、高層マンションや大型商業施設が立ち並ぶ人口72万人の政令指定都市に変容しました。

相模原市は利便性と自然とが融合した都市という生活環境の充実だけでなく、医療や研究機関の質の高さも兼ね備えており、日本を代表する有名な功績や著明な先生方も数多くいらっしゃいます。そのような環境の中で、リハビリテーション専門職としてのスキル研鑽や関連団体とのネットワーク力の強化、同士たちが一堂に会せる場の創出を目的とする職能団体として本会は立ち上がりました。今年で発足から2年目になりますが、活動内容としては年間3回の研修会を開催しております。

これまでに開催した主な研修テーマとしては、『肩関節の考え方』『CT・MRIの活かし方』『がんの作業療法』『臨床実習教育』などが挙げられます。研修参加者は相模原市内、神奈川県内のみならず、東京都や埼玉県からお越しいただくこともありまし

た。今後の計画では、外部講師をお招きして『認知症』や『整形外科疾患』、『社会保障制度』をキーワードとした講演を予定しており、“明日から使えるタイムリー”な情報発信をしていきたいと思ひます。

本会のことをもっと詳しく知りたいときには、『作業療法地域連携会』と検索してください。“かたつむり”がシンボルマークのホームページがご覧いただけます。





求人

作業療法士 募集

募集人員：若干名

就労期間：即日～平成26年2月28日

応募資格：作業療法士免許を有する方

待遇：非常勤職員（社員登用あり）

給与：当社規定による 1,600円/時給

手当：交通費相当分支給

勤務時間：全日 9:00～17:00の間で5時間程度

※頻度・時間等は相談に応じます

休日：シフト制（事業所は365日稼働の為応相談）

応募方法：電話連絡の上、履歴書（写真貼付）

※免許証の写しをご持参ください。

※まずはお気軽にお問い合わせ下さい

問い合わせ先

ツクイ横浜東戸塚

〒244-0801 横浜市戸塚区品野町5-2

TEL/045-820-2507 FAX/045-820-2508

横浜第一圏横浜西エリア 大和田

Email: mchy_oowada@tsukui.net

ツクイHP: <http://www.tsukui.net/>

随時見学も受け付けています。DSってこんなだった？といった印象を受けるかと思います。働き方については、ぜひご相談ください。

ママさんOT、ブランクのある方など、是非皆さんの資格を活かし高齢者の生きがいを引き出しご自身の働きがいに繋げていただけたらと思います。

今回の募集事業所

●横浜東俣野

横浜市戸塚区東俣野町992-3

●横浜三保

横浜市緑区三保町3016-6

●横浜泉

横浜市泉区上飯田町921

他、港北区でも随時募集。

泉区中田にも3月オープン予定です。

～在職のOTの声～

こんなに働きやすい環境があるとは思わなかった。病院の常勤で勤務していたが、家庭事情もあり夜遅くまで勤務する事が厳しくなった所でDSの求人を見つけた。実際に働いてみたら、時間や休みは相談できるし、お客様の生きがいに関わっている実感がある。



求人

医療法人徳昌会 あきやま整形外科

平成18年に当院開設と同時にリハビリテーション科は開設されました。日頃から心身の不自由や痛みなどでお悩みの方々、交通事故・スポーツなどで怪我をされた方々など、多くの患者様にご来院頂き、ご愛顧を頂いて参りました。

当院のリハビリテーション科では、理学療法士6名・マッサージ師1名・リハビリスタッフ5名体制で運営しております（作業療法士はデイサービス専属で1名）。設備機器やスタッフ教育の充実をはかり、いつも身近な町のリハビリテーション施設として地域に貢献して参ります。

作業療法の分野は、当院にとってこれからますます必要とされる分野になります。ぜひ、積極的なご応募をお待ちしております。

求人概要

職種 作業療法士

勤務形態 正社員 週休二日制（事務所のローテーションによる。）

※パートも同時募集しております。

勤務地 あきやま整形外科 身体障害：急性期・亜急性期、身体障害：回復期リハ通所介護施設兼務（デイサービス・デイケア） 訪問リハビリテーション兼務

職務内容 整形外科（リハビリテーション科）における作業療法士業務

及び付帯施設の通所介護施設（デイサービス）における個別機能訓練士業務

※医療と介護/外来と在宅と幅広い分野での活躍が場所が用意されています。

面接の際はご本人様の希望を尊重し、配属を決定します。

給与 月額270,000円～（年俸制）※前職給与を考慮します

勤務時間 8時30分～17時30分（時間外業務有り）

休暇 夏季休暇 年末年始休暇 有給休暇

待遇 社会保険完備 ※遠方の方については、転居費用は応相談 / 昇給年1回 ※但し実績による

応募 まずはお気軽にお電話ください。 TEL046-838-6608 人事総務部直通

医療法人 徳昌会

あきやま整形外科

Akiyama orthopedic clinic

横須賀市根岸町1-9-9 久里浜スカイマンション2F

<http://tokushoukai.or.jp>

TEL:046-838-6608 FAX: 046-838-5128

shotai-jin@tokushoukai.or.jp（採用担当）





求人

作業療法士オープニングスタッフ 募集

平成26年5月、川崎市に初めて認知症疾患専門病院をオープン致します。認知症専門病院として介護や福祉と連携し、早期復帰を目指した全国に誇れる新しい病院と一緒に創っていきませんか。

施設概要 病床数300床（全認知症専門病床）
認知症デイ・ケア
募集人員 常勤 10名（オープニングスタッフ）
給与 当院規定により優遇致します。
昇給年1回 賞与年2回
勤務時間 8:30～17:30 土曜 8:30～12:30 ※予定
休日 日・祝・土（午後）、1週40時間内による
病院指定休、年末年始等
応募方法 電話連絡の上、履歴書（写真貼付）、免許証（写）
を下記準備室まで郵送ください。
アクセス 東急田園都市線たまプラーザ駅、溝の口駅
小田急線柿生駅、新百合ヶ丘駅等からバス
バス停より徒歩1分
※田園都市線あざみの駅より職員送迎バス予定
担当者 開設準備室事務長 国井 弘 善
〒222-0011 横浜市港北区菊名4-3-11
横浜メディカルグループ本部
電話 045 (430) 5445
FAX 045 (401) 2640
E-Mail info@kqh.ne.jp

医療法人花咲会 かわさき記念病院

〒216-0013 川崎市宮前区潮見台20-1
電話 044 (977) 8877
<http://www.kqh.ne.jp>



求人

作業療法士募集

「その人らしさ」を考えたりハビリテーションの提供という理念のもと、入院から在宅までの支援を積極的に行っています。

募集人数 常勤 5名
施設概要 回復期リハビリテーション病棟120床
療養病棟213床
病院併設（デイケア、訪問リハ）
待遇 当院規定により優遇。経験年数加算。
昇給年1回。賞与年2回。
勤務時間 8:30～17:30
休日 年間休日118日、有給休暇、特別休暇等
福利厚生 各種社保完備、退職金制度、職員寮あり
その他 学会・研修会出張奨励
PT57名、OT46名、ST12名
応募方法 随時電話連絡の上、履歴書を持参または下記
宛に郵送して下さい。
交通 JR横須賀線「東戸塚駅」よりバス利用15分
担当者 総務課 田邊

IMS（イムス）グループ

医療法人社団 明芳会 新戸塚病院
〒244-0805 神奈川県横浜市戸塚区川上町690-2
TEL: 045-822-4151（代表）
FAX: 045-823-3850
URL: <http://www.ims.gr.jp/shintotsuka/>



求人

作業療法士募集

募集人員：常勤 1名
施設概要：入所100名 デイケア30名
待遇：当法人規定により優遇
昇給年1回 賞与年2回
勤務時間：8:30～17:30
休日：土・日曜日休み（祝日は営業）
有給休暇、年末年始、特別休暇等
その他：学会・研修会出張奨励
応募方法：電話連絡の上、履歴書持参
又は下記宛に郵送してください
交通：東海道線大磯駅 車10分
*最寄駅より公共の交通機関なし
車・バイク通勤できる方が望ましい

医療法人社団 幸寿会

介護老人保健施設 大磯幸寿苑
〒255-0005
神奈川県中郡大磯町西小磯2466番地
TEL 0463-60-3525
FAX 0463-60-3526

県士会メディア掲載のご案内 （求人情報 講習会・研修会）

一般社団法人神奈川県作業療法士会では、すべての会員の手に郵送される「県士会ニュース」とインターネット上で展開している「県士会サイト」の2つのメディアを運営しています。

「県士会ニュース」、「県士会サイト」とともに、会員や県民の方々へ有益な情報を発信するため、会員や関連職種、関連団体などからの記事掲載の依頼を受け付けております。

情報の発信をご検討している方は、下記アドレスをご覧ください。

一般社団法人神奈川県作業療法士会ウェブサイト（県士会メディア）

<http://kana-ot.jp/media.htm>

そして、発信したい情報の種類・対象・時期などから「県士会ニュース」向きか、「県士会サイト」向きか、それとも両方とも向いているか、ご判断いただき、それぞれの依頼方法を確認していただき掲載依頼を行って下さい。基本的には両方のメディアへ掲載をご検討下さい。

『コメディカルスタッフのための血液データの基礎知識入門編～横浜会場～』

主催：合同会社gene
日時：平成25年12月15日(日)10:30～15:30（受付10:00～）
場所：神奈川産業振興センター（横浜市中区）

『頸部～肩甲帯のIDストレッチとその臨床応用～横浜会場～』

主催：合同会社gene
日時：平成25年11月24日(日)10:00～16:00（受付9:30～）
場所：神奈川産業振興センター（横浜市中区）
参加費：参加費用 12,000円（受講費：11,429円 消費税：571円）
申込み方法：合同会社geneホームページ（www.gene-llc.jp）よりお申込下さい。

アクティビティ研究会セミナー

主催：アクティビティ研究会
日時：2013年10月6日(日)10:30 - 15:00
場所：日本赤十字社総合福祉センター レクロス広尾（東京都渋谷区）
参加費：500円
申込み方法：アクティビティ研究会事務局 奈良（act-ken@mail.goo.ne.jp）

コアマッスルの再考と臨床への応用～横浜会場～

主催：合同会社gene
日時：平成25年11月17日(日)10:00～16:30（受付9:30～）
場所：マルハチコットンスクエア 地下1階 ホール（横浜市港北区）

リハスタッフのための認知症のある方への対応と評価～東京会場～

主催：合同会社gene
日時：平成25年11月3日(日)10:00～16:00（受付9:30～）
場所：株式会社 日本印刷会館2階 201-203号室（東京都中央区）
参加費：参加費用 12,000円（参加費：11,429円 消費税：571円）

リハスタッフのための薬剤の基礎知識～東京会場～

主催：合同会社gene
日時：平成25年11月17日(日) 10:00～16:00（受付9:30～）
場所：株式会社日赤サービス（日本赤十字社ビル）1階 101会議室（東京都港区）

介護予防・リハビリケア研修会2013

主催：日本通所ケア研究会
日時：2013年9月21日(土)10:00～17:00
場所：ウィリング横浜（横浜市港南区）
参加費：12,000円（税・資料代込み）
申込み方法：HP参照
（http://www.tsuusho.com/reha-care/）
申込み締切：2013年9月20日(金)

自助具をつくろう！ 初級編・中級編

主催：一般社団法人 神奈川県作業療法士会 福祉用具委員会
日時：第1回 平成25年9月7日(土)
第2回 平成25年9月21日(土)
第3回 平成25年10月5日(土)
第4回 平成25年10月19日(土)
第5回 平成25年11月2日(土)
第6回 平成25年11月16日(土)
参加費：神奈川県作業療法士会会員は500円、他都道府県士会会員等は2000円
＊別途材料費（500円程度）がかかります
申込み方法：県士会事務局研修会受け付け
<ken-ot@kana-ot.jp>に記載事項をご記入のうえ、電子メールにてお申し込みください。

生活的（病院・老健・通所・訪問リハ）の視点からの高次脳機能障害（総集編）

主催：湘南高次脳機能障害リハビリ研究会
日時：2013年11月17日(日)、11月24日(日)
場所：日本リハビリテーション専門学校のイセビル2階（東

京都豊島区）
参加費：2日間で8,000円、1日参加の場合は5,000円（1日参加の場合は日付を明記）
申込み方法：こちらをご覧ください、専用フォームからお申し込みください。
http://ameblo.jp/shounan-reha/

第1回 日本臨床作業療法学会学術大会

主催：日本臨床作業療法学会
日時：2014年3月22日(土)、23日(日)
場所：神奈川県立保健福祉大学
参加費：事前申し込み・会員4000円、非会員6000円
当日参加・会員5000円、非会員7000円
申込み方法：HP参照（http://jscot.kenkyuukai.jp/）

第4回年次研修会in福岡「学ぶ・活かす・伝える」～終末期・緩和ケア作業療法の基礎と実際～

主催：終末期・緩和ケア作業療法研究会
日時：平成25年9月22日(日)・9月23日(祝)
場所：天神クリスタルビル（福岡市中央区）
参加費：8,000円（会員）、12,000円（非会員）
定員：100名（会員優先）
申込み方法：HP参照（http://www.kanwaot.net/）

第8回北里作業療法学会 研修会

主催：北里作業療法学会
日時：平成25年9月14日(土)
場所：北里大学相模原キャンパス 医療衛生学部 A3号館5階多目的室
対象：どなたでも参加頂けます
参加費：会員（北里作業療法学会会員）1,500円、非会員 2,000円
申込み方法：下記メールアドレスまで、件名「北里OT学会研修会申し込み」
①氏名（卒業生は〇〇期生の記入をお願いします） ②所属 ③職種 ④連絡先メールアドレス ⑤経歴年数 ⑥就労支援経験（有・無） ⑦業務分野（身障分野・精神分野・その他）を明記の上、お申し込みください。
申し込み先：北里作業療法学会事務局 平田樹伸 Email: kitasato.ot@gmail.com

第11回日本通所ケア研究大会（合同開催）第9回認知症ケア研修会in福山

主催：日本通所ケア研究会
日時：2013年11月16日(土)・17日(日)
参加費：両日参加：12,000円、1日参加：8,000円
申込み方法：HP参照
http://www.tsuusho.com/meeting/11/

第11回日本通所ケア研究大会（合同開催）第9回認知症ケア研修会in福山

主催：日本通所ケア研究会
日時：2013年11月16日(土)・17日(日)
参加費：両日参加：12,000円、1日参加：8,000円
申込み方法：HP参照
（http://www.tsuusho.com/meeting/11/）

脳のシステム障害の理解とリハビリテーション～東京会場～

主催：合同会社gene
日時：平成25年11月23日(土)・(祝)10:00～16:00（受付9:30～）
場所：津田ホール 3階ホール（東京都渋谷区）

呼吸リハビリテーション入門～東京会場～

主催：合同会社gene
日時：平成25年11月17日(日)10:00～16:00（受付9:30～）
場所：株式会社 日本印刷会館 2階 201-203会議室（東京都中央区）

会費納入法方法変更について

神奈川県作業療法士会では今年度より会費納入方法が「銀行口座からの引落とし」へ変更になりました。

今年度については銀行口座引落としと郵便振替の会費納入額は同額としますが、平成26年度より郵便振替を利用する方に対し、郵送料や事務経費を800円上乗せした金額を請求させていただきます（平成25年2月理事会承認）。

<今後のスケジュールについて>

みなさまに送付してある銀行口座引落としの書類を事務局までご提出ください。

引落としの日程は以下の通りとなります。改めてのお知らせは致しませんのでご了承ください。残高などの関係で引落としができなかった場合には、翌月の引落としとなります。連続して2回以上引落としができなかった方へは個別にご連絡いたします。

平成25年9月15日までに書類が提出された場合：

☞ 11月5日に引落とし

平成25年10月15日までに書類が提出された場合：

☞ 12月4日に引落とし

平成25年11月10日までに書類が提出された場合：

☞ 1月6日に引落とし

平成25年12月10日までに書類が提出された場合：

☞ 2月4日に引落とし

平成25年1月15日までに書類が提出された場合：

☞ 3月4日に引落とし

<会費の「銀行口座引き落とし」Q&A>

1. なぜコンビニ決済から銀行口座引き落としにするのか？

毎年の会費納入の手間が省けることや経費削減（年間40万以上）、運営費を安定的に確保することなどが目的です。

2. いつ決まったのか？

これまでも検討を続けていましたが、平成24年7月12日の理事会で承認されました。

3. 口座引落としの手続きをしなかった場合は？

基本的にはすべての会員に銀行口座引き落としを利用していただきたいと思います。なお、書類が提出いただけない場合には郵便振替のみで対応致します。平成26年度以降については、銀行口座引落としを利用されない会員には郵送料や事務経費を合わせた800円を上乗せした金額を請求致します。コンビニ決済との併用は費用の関係で実施できません。なお、新入会員については入会手続き時に銀行引落としの手続きをしていただきます。

4. 個人情報の扱いは？

みなさまから提出いただいた関係書類は横浜銀行 関内支店の貸金庫にて保管しております。

（財務部：野々垣）

編集後記

今夏は広い範囲で猛暑となり、地域によって局所的な豪雨や極端な少雨になった。

日本各地を襲った異常気象に、身体に変調をきたした方も多かったのではないだろうか。

最近秋風が心地よく、あの猛暑が嘘のように感じられる今日この頃。

「来年の今頃、世界の作業療法はより身近にものに」

これから深まる秋の夜長に、海外の著書に手を伸ばしてみたいかがでしょう。（komi）

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニュース** <163号> 2013年9月発行（年6回発行）

発行責任者 渡邊愼一

編集責任者 出口弦舞

編集担当 小峰一宏／山岡洸／岩瀬このみ／桜井大和（佐藤病院）

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号 TEL/FAX：045-663-5997
月火水木金 10：00～16：00 メールアドレス：jim@kana-ot.jp



kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

作業療法 神奈川

検索